

### 1.3 幼・保等、小、中連携全体計画（御船町立御船中学校の例）

<p>関係法令等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本国憲法</li> <li>● 教育基本法</li> <li>● 学校教育法</li> <li>● 学習指導要領</li> <li>● 県各課取組の方向</li> <li>● 上益城教育事務所取組の方向</li> <li>● <b>新 肥後っ子がやきプラン</b></li> </ul>	<p>本校学校教育目標</p> <p>郷土を愛し、 夢（目標）に向かって、 高め合う生徒の育成</p>	<p>生徒や地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ以外に携帯電話やインターネットに時間を費やす傾向がある。</li> <li>● 対人関係を築くことや、適切な言動をとることが苦手な生徒が見られる。</li> <li>● 家庭学習の習慣がっていないことや歯の治療率が低い実態がある。</li> </ul>
	<p>目指す生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自ら主体的に考え、適切に行動できる生徒</li> <li>2 新しい価値をつくりだす表現力豊かな生徒</li> <li>3 異なる価値観を受容し、他者と共に生きる生徒</li> </ol>	

**【ポイント1】**  
関係法令等に「新 肥後っ子がやきプラン」が記載されています。

幼・保等、小、中連携の目標
カリキュラムに基づき、家庭や地域と計画的に連携・交育成する。

幼・保等・小・中連携：取組の重点		
情報連携	行動連携	目標連携
<p>○ 日常的な連絡や情報交換を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼・保等、小、中連絡協議会の活性化</li> <li>● 学校便りや行事計画等の交換</li> <li>● <b>接続期における緊密な連携（幼児期の終わりまでに育てたい10の姿）</b></li> </ul>	<p>○ 計画的で組織的な連携・交流を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校行事、体験入学等による交流</li> <li>● 公開授業、保育体験等での交流</li> </ul>	<p>○ 家庭や地域との連携した取組を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的な生活習慣や「ふるさと感」を育む連携カリキュラムの実践</li> </ul>

**【ポイント2】**  
「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を活用し、円滑な連携が図られています。

御船町の取組
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色ある学校づくりの推進</li> <li>2 豊かな心の育成</li> <li>3 健やかな体の育成</li> <li>4 相談・協力体制の充実</li> <li>5 家庭教育への支援</li> </ol>

**【ポイント3】**  
町ごと、又は、中学校区ごとの取組が記載され、就学前から中学校まで連携した取組が図られています。

本校の実践事項
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域・家庭との連携             <ol style="list-style-type: none"> <li>① ノーメディアデーパンフレットの配付 長期休業日前に全家庭にパンフレットを配付し、啓発を行う。また、夏季休業中の地区懇談会において、ノーメディアデーの趣旨説明と実施の呼びかけを行う。</li> <li>② ノーメディアと睡眠時間に関する調査 ノーメディアと睡眠時間についてのアンケートを行う。</li> <li>③ 「『家庭の日』標語・作文」の作品募集</li> <li>④ 学校に行こうデーの開催（学校開放デーの実施） 毎月15日を実施日（5月から実施）とし、授業を公開したり、教育アンケートを取ったりして学校評価・改善に生かす。</li> <li>⑤ 学校運営協議会の開催による情報・意見交換</li> </ol> </li> <li>2 幼・保等、小、中連携             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 中学校へのパスポートの配付 小学校5・6年生を対象に基本的な生活習慣・学習態度についてのパンフレットを配付する。</li> <li>② 歯磨きの習慣化に向けての実践（フッ化物洗口等）</li> <li>③ 正しい言葉遣いの徹底</li> <li>④ 体験授業の実施 小学校6年生を対象に新入生説明会時に体験授業を行う。</li> <li>⑤ 小学校との授業交流 小学校外国語活動を中心に、授業参観や体験授業を行う。</li> <li>⑥ 小中連絡会 定期的に小中連絡会を開く。夏季休業前に中学校1年生が小学校6年時の担任宛に手紙による近況報告をする。</li> </ol> </li> </ol>

各領域等における重点事項			
教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
小学校からの系統性を踏まえた指導を行い、支援方法等の工夫改善を行う。	思いやりの心・地域社会の一員としての自覚をもって、郷土を愛する心を育てること等に重点を置き、交流活動と連携させて指導する。	生徒会活動や学校行事における交流活動等を通して、幼児や小学生への理解を深め、中学生としての自覚を高める。	幼・保等、小と目的を共有し、互恵的な関係で体験活動等を実践し、「ふるさと感」育む学習活動の充実を図る。